

第二次北九州市健康づくり推進プラン 指標の達成状況 《分野別 ※一部抜粋》

基本目標分野 評価区分		I 【データヘルスの推進】 データに基づく生活習慣病予防及び重症化予防の推進 II 【健康格差の縮小】 多様な背景の市民に対する健康づくり						III 【健康なまちづくりの推進】 市民の健康を支える社会環境の新創	
		健康管理関連	栄養食生活	身体活動運動	休養 こころ	喫煙 飲酒	歯 口腔		社会参加 その他
A	目標達成			運動習慣者の割合の増加 (週1回以上かつ30分/回以上) 成人～高齢者	悩みやストレスを相談することが恥ずかしいと思う者の割合の減少 男性 A 女性 B	受動喫煙の機会を有する者の割合の減少 家庭、飲食店 未成年の飲酒・喫煙をなくす 喫煙 A 飲酒 B	歯科健診受診率の向上 妊産婦 1歳6か月児、3歳児 自分の歯を有する者の割合の増加 80歳で20歯 A 60歳で24歯 B 有する者の割合の減少 進行した歯肉炎を 有する者の割合の減少	市民主体の健康づくり 「地域でGo!Go! 健康づくり」 実施数の増加	
	目標値に近づいた(改善)		夕食を一人で食べる子どもの割合の減少 小・中学生 中学生女子の痩身傾向児の割合の減少		自殺死亡率の減少	妊娠中の飲酒・喫煙をなくす	乳幼児・学齢期でう蝕のない者の割合の増加 3歳児 A、12歳児C 歯周病検診受診率の向上 40、50、60、70歳	健康情報の認知度 ・ロコモティブシンドローム【B】 ・COPD【B】	健康づくりを推進する団体等の増加 団体・飲食店
C	変化なし	75歳未満のがん年齢調整死亡率 母子健康診査順率の向上 妊産婦、3歳児	低栄養傾向の高齢者の割合の増加の抑制 毎日朝食を食べる子どもの割合の増加	週3回以上、運動やスポーツを行う子どもの割合増加 小中学生		喫煙者の割合の減少 男性・女性	咀嚼良好者の割合の増加(60歳代) 40歳 中学生	・口腔ケアが誤嚥性肺炎を予防する【C】 ・歯周病と糖尿病の関係性【C】	栄養・食生活情報を提供する給食施設の割合の増加
D	目標から離れた(悪化)	健(検)診受診率の向上 国保特定健診 C がん検診 D 若者健診 D 特定保健指導の実施率の向上 有所見者の割合の減少 高血圧症 脂質異常症 血糖コントロール不良者 年間新規透析導入患者数の割合の減少	バランスの良い夕食を摂取する児・者の増加 小中学生・成人 肥満傾向の児・者の割合の減少 小学生・成人		睡眠による休養を十分とれていない者の割合の減少 心理的苦痛を感じている者の割合の減少	過度な飲酒をする者の割合の減少 男性・女性	未処置を有する者の割合の減少 40歳 D	この1年間地域活動等へ参加した高齢者の割合の増加 地域活動 D	地域との交流を楽しんでいる者の割合の増加(40歳以上) 健康づくりや介護予防に取り組む高齢者の割合の増加
E	評価困難	働く世代(40～69歳)のがん検診受診者数の増加							健康経営を推進する市内企業等の増加

コロナ禍の影響を大きく受けた一部の指標が悪化・伸び悩み
 → 引き続き、生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防及び重症化予防に関する取組みなどの推進が必要